

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 あごらクラブ

公表日

2025年 3月 14日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20		スペースの確保はできており、事故などに十分注意してサービスの提供が安全に行われるよう心掛けております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	2		放課後等デイサービスでは人員配置基準では、『保育士もしくは児童指導員2名配置』が通常であるが、あごらクラブでは、『保育士・児童指導員・指導員が2名+1名以上の配置』で支援を実施し、基準を十分に満たしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20		・学習や活動のスペースを分けて過ごしやすい空間を提供しております	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	1	・毎日、清掃消毒を実施しております ・遊び、学習、おやつ等個々の活動に合わせて空間作りに取り組んでおります ・整理整頓を行っております	整理整頓を心掛けております。また、活動内容に合わせて、貸部屋の利用や屋外外出等、行っております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	3	・必要に応じてパーテーションを用いて個別の空間を提供しております	パーテーションを活用し、個人の空間を作っております。また、クールダウン室を利用させていただくこともあります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	18	2		レクリエーションの企画を通して、PDCAを実践し周知していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	2	・職員会議にて、意見交換をしております	職員会議や朝礼、昼礼にて情報共有、意見交換を行い、業務改善につなげております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	7	・年2回の第三者委員会において苦情、事故等の報告を実施し、サービスの改善に努める	年2回、法人全体で第三者委員会を実施。苦情、事故等の報告を通して、サービスの改善に努めております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20		・月に一度内部研修又は外部研修を実施	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	2	・ホームページにて公開	事業所内に支援プログラムを掲示し、職員にも周知します。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	19	1	・保護者や児童と面談し、聞き取りを行い計画に反映しております	年に2回面談を実施。アセスメントは書式を用いて、最低でも年1回実施しております。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20		・支援会議やミーティングで職員の意見を取り込み計画に反映しております	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20		・個々の計画を共有し計画に沿った支援に努めております	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20		・支援記録を用いて細かく日々の様子を記入することに努めております	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20		・本人支援は、5領域に基づいた計画を作成	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	1	・職員間で意見を出し合い活動内容を計画	各職員が活動プログラムを立案し、それを基に活動を行っております。

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20		・社会学習、調理や外出などを行い色々な経験ができるよう工夫しております	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	20		・個別活動と集団活動の立案は、毎日実施	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20		・支援前の確認徹底 ・レクリエーションをローテーションで計画	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	2	・昼礼で前日の振り返り、周知を行っている ・支援終了後、日誌への記載を徹底	送迎等ある為、当日中の打合わせは難しいのが現状ですが、日誌を活用し、翌日以降に打合わせや情報共有を行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	19	1		放課後等デイサービスのガイドラインについての職員研修を実施します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	19	1		・絵カードやジェスチャーを活用しています。また、答えやすいよう2択で意思表示を確認するなど個々に合わせた工夫をしております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20		・児童発達管理責任者が参加	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	2	・衛生委員会（月／1回）に協力関係機関の先生よりアドバイスを受けております	学校とは送迎時に情報共有を行っておりますが、それ以外にも電話や面談を通じて、情報共有しております。また、病院訪問し、かかりつけ医とのケース会議にも参加しております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	20		・連絡ツールを使用し共有に努めております	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	18	2	・必要に応じて情報共有をしております	新規の利用者様は、担当者会議時に情報共有を行っております。保育所や事業所の出席が難しい場合は書面にて情報提供を頂いております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	20		・卒業後利用される事業所へ情報は伝えております（保護者同意のもと）	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	16	4		糸島市の児童発達支援センターの開所後に連携体制について検討していきます。現時点では、福岡県の支援センター主催の研修に参加しております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	12		試みたいが感染予防の為控えております。公共の場所へ行き外出支援をした先で他の子どもと交流の機会を設けております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	16	4	・参加し意見交換に努めております	児童発達支援管理責任者が出席し、意見交換しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	1	・連絡帳やお便りで日頃の様子をお伝えし、保護者会などを通じ保護者との支援について共通の理解を深める	毎日の連絡帳での伝達に加え、必要に応じてお電話や対面にて情報共有する場を設けております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	3	・保護者会にてグループワークを実施	コロナ禍で中止していた保護者会を2024年度より再開。今後は、保護者会にて研修や情報提供を実施していきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	2	・契約時に説明 ・内容の変更があった場合、文書等により確実に行う	契約時に重要事項説明書を基に管理者より説明差し上げています。法改正や体制変更があれば、その都度文書を発行し、説明差し上げています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20		・半年に一度面談を行い、聞き取りを実施	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	20		・説明、同意のもと署名を頂く ・新たなニーズ、修正等あれば都度作成に努める	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20		・相談できる環境や雰囲気作りを行い、必要な助言支援を行う	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	3	・保護者会を通じて意見交換や交流の場を設ける	コロナ渦で中止していた保護者会を2024年度より再開。意見交換等を行い、保護者間交流を図っていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20		・事務所入り口ドアに、第三者委員の名前や連絡先を掲示	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	20		・アメーバブログによる配信を中止し2025年12月よりInstagramに移行	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20		・個人情報に関する書庫や事務所には施錠を徹底し、外部へ漏れることがないように心掛け、ホームページなど写真を掲示する場合も細心の注意を払う	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20		・カードなどのツールを活用し、意思疎通に心掛ける	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	6	・ボランティアの受け入れを実施（夏祭りや音楽会を開催）	長期休暇や学校休業日にボランティアの方を招いて、地域住民との交流を図っております。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20		・当事業所のある福祉センターでの避難訓練、防火訓練に必ず参加し日頃からの防災、非常時の対応を意識しておく ・研修への職員全員参加に努めている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	1	・BCPの研修に参加及び計画の作成	2024年度より全職員対象にBCP研修を実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20		・投薬依頼書の記入及び処方箋の確認 ・てんかん発作への対応は個々に応じて対応方法を作成	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	19	1	・保護者の方からの聞き取りを十分に行い、必要に応じて医師の指示を受ける	保護者様から十分な聞き取りを行い、必要に応じて医師の指示書を依頼致します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20		・安全計画を基に定期的に公園や遊歩道の点検実施	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	1	・年に一回安全計画書を各家庭に配布	2024年度安全計画書を作成し、各家庭に配布しております。2025年度計画も年度初めに配布し、年度途中で契約となったご家庭にも契約の際にお渡ししております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20		・ヒヤリハットの報告を職員会議にて実施 ・第三者委員会においてヒヤリハットの経過や改善方法を報告し職員間での共有を行う	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20		・研修を定期的実施 ・日頃より丁寧な言葉遣いを心掛ける	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	20			